WWW 設定ガイド

この冊子は、お使いの WWW ブラウザによって **RT80i** の設定を行なったり操作をしたりするための説明書です。**RT80i** のハードウェアインストールについては取扱説明書を、また、詳しい設定例や設定事項については、それぞれクイックスタートガイドやコマンドリファレンスを参照してください。

目 次

1 はじめに **2**

2 画面構成 **2**

3 RT80i にアクセスする **2**

4 設定例 **4**

4.1 端末型接続の設定 4

4.2 ダイヤルアップによるネットワーク型接続の設定 5

4.3 アナログポートにダイヤルイン番号を設定 6

5 操作例 **7**

5.1 設定内容の表示操作 7

5.2 ping による接続の確認操作 8

※ Microsoft は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

1　はじめに

RT80i はお使いの WWW ブラウザを使って設定や操作を簡単に行なう機能があります。

RT80i は工場出荷時に IP アドレスが 192.168.0.1、ネットマスクが 255.255.255.0(24 ビット) に設定されています。お使いの WWW ブラウザで、この IP アドレスの URL を入力するだけで **RT80i** の設定が行なえるようになります。

この機能は、画面内容に従うことで設定や操作ができるようにデザインされていますが、基本的な操作方法がわからない時はお使いの WWW ブラウザの取扱説明書を参考にしてください。

設定操作中や操作をしようとした時に分からない点があれば、添付の取扱説明書、クイックスタートガイド、コマンドリファレンスを参照してください。

MEMO

この機能は、RT80i の基本的な設定や簡単な操作を提供するものであり、**RT80i** が持つ全ての機能を実現するものではありません。また、提供される機能は **RT80i** プログラムのリビジョンにより異なります。

MEMO

お使いのコンピュータに TELNET クライアントがある場合には、**RT80i** にログインすることで全ての設定が行なえるコンソールが使用可能です。設定や操作内容に応じて方法を使い分けると良いでしょう。

2　画面構成

RT80i にアクセスして現れる画面の概略を以下に説明します。

なお、画面の縦横比やフォントなどは WWW ブラウザの設定により異なる場合があります。本冊子の画面例はあくまでも一例であり、また適宜画面は切りとって編集されています。

1. プログラムのリビジョンは、WWW ブラウザのタイトルバー等に表示されます。
2. 設定画面に移るためには、まず、左側のメニューから項目を選んでクリックしてください。
3. 左側の画面は設定メニュー、右上の画面は具体的な設定操作を行なうための画面、右下の小さな画面はヘルプ画面です。

   ?や i アイコンをクリックするとその説明や対応コマンドがヘルプ画面に現れます。
4. 設定画面が現れると、アクセスした **RT80i** の設定内容が画面に表示されます。

3　RT80i にアクセスする

RT80i の電源を入れると、WWW ブラウザからアクセスすることが可能になります。

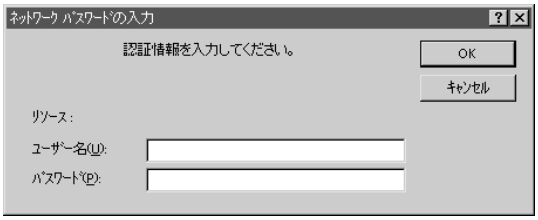
MEMO

もしお使いのコンピュータに IP アドレスが設定されていない場合でも、コンピュータ側の DHCP 使用を有効にしておけば **RT80i** へアクセスすることができます。

1. 工場出荷時には IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されていますので、お使いの WWW ブラウザから次の URL を指定してください。

   URL　　http://192.168.0.1/

2. ユーザー名とパスワードの確認画面が現れます。



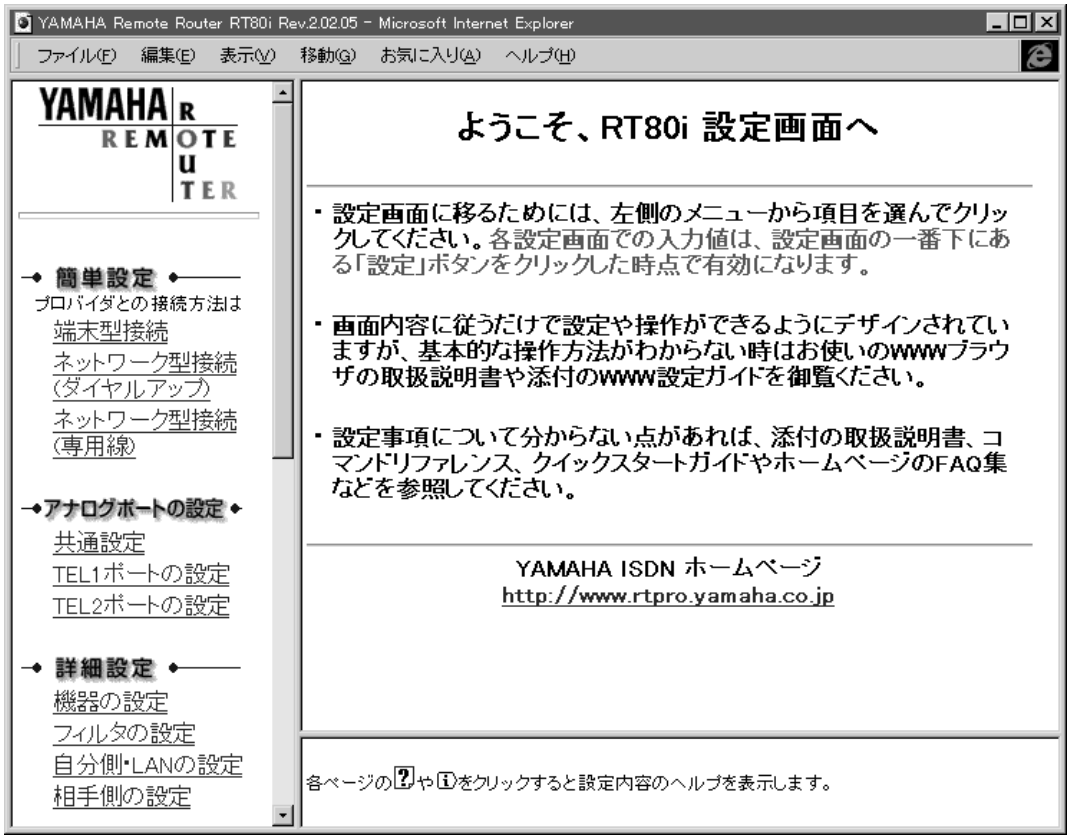
   [ユーザー名] テキストボックスへは何も入力しません。

   [パスワード] テキストボックスには **RT80i** の管理パスワードを入力します。

   工場出荷時には管理パスワードが設定されていないので、何も入力しないで [OK] ボタンをクリックします。

3. 設定画面が現れます。

   プログラム Rev.2.02.05 の場合の画面例を以下に示します。



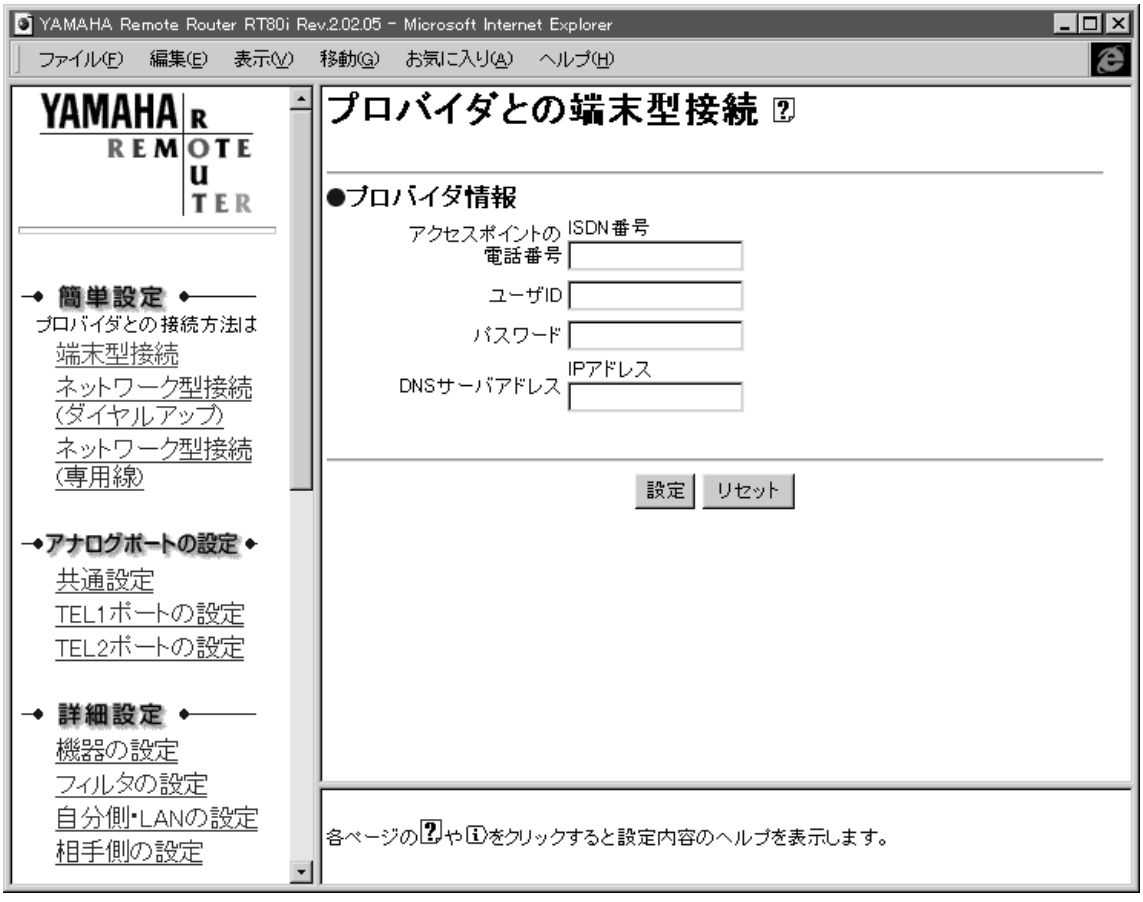
4　設定例

最も基本的な端末型接続と、ダイヤルアップによるネットワーク型接続、アナログポートにダイヤルイン番号を設定する場合の 3 つの設定手順を説明します。

4.1　端末型接続の設定

プロバイダと端末型接続を行なう場合に必要な設定手順を示します。

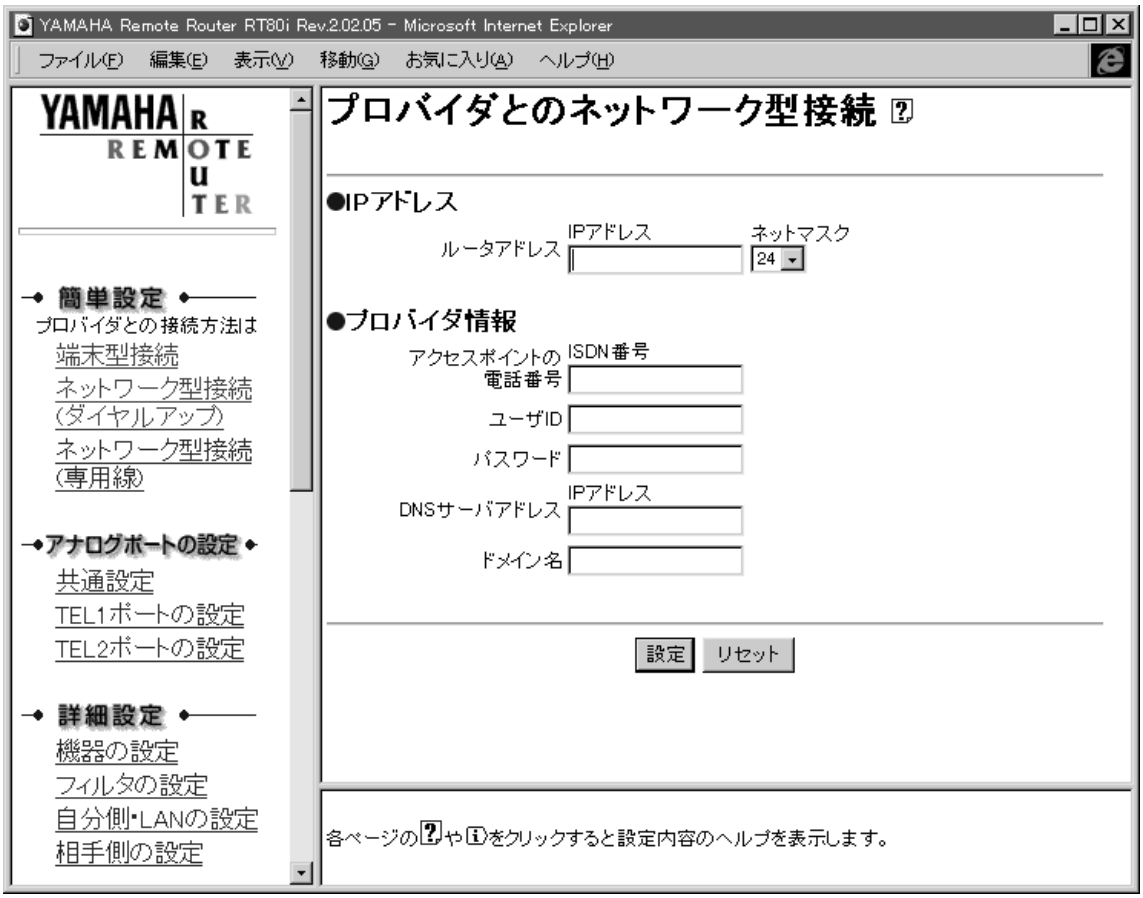
1. メニュー画面で　[端末型接続] をクリックします。
2. 　[プロバイダとの端末型接続] 画面の 4 項目を設定します。
   (a)　[アクセスポイントの電話番号] テキストボックスに ISDN 番号を入力します。
   (b)　[ユーザ ID] テキストボックスにプロバイダから指定されたユーザ ID を入力します。
   (c)　[パスワード] テキストボックスにユーザ ID に対するパスワードを入力します。
   (d)　[DNS サーバアドレス] テキストボックスにプロバイダから指定された DNS サーバの IP アドレスを入力します。
3. 上記設定内容を確認し、画面下の　[設定] ボタンをクリックします。
4. 設定操作後の設定内容が新しい画面に示されます。画面下の　[保存] ボタンをクリックして、以上の設定を不揮発性メモリに書き込みます。



4.2 ダイヤルアップによるネットワーク型接続の設定

プロバイダと端末型接続を行なう場合に必要な設定手順を示します。

1. メニュー画面で [ネットワーク型接続 (ダイヤルアップ)] をクリックします。
2. [プロバイダとのネットワーク型接続] 画面の [IP アドレス] 欄で、[ルータアドレス] テキストボックスに **RT80i** の IP アドレスを、[ネットマスク] ボタンをクリックしてネットマスクのビット数を設定します。
3. [プロバイダ情報] 欄で以下の 5 項目を設定します。
   (a) [アクセスポイントの電話番号] テキストボックスに ISDN 番号を入力します。
   (b) [ユーザ ID] テキストボックスにプロバイダから指定されたユーザ ID を入力します。
   (c) [パスワード] テキストボックスにユーザ ID に対するパスワードを入力します。
   (d) [DNS サーバアドレス] テキストボックスにプロバイダから指定された DNS サーバの IP アドレスを入力します。
   (e) [ドメイン名] テキストボックスにプロバイダから指定されたドメイン名を入力します。
4. 設定内容を確認し、画面下の [設定] ボタンをクリックします。
5. 設定操作後の設定内容が新しい画面に示されます。画面下の [保存] ボタンをクリックして、以上の設定を不揮発性メモリに書き込みます。

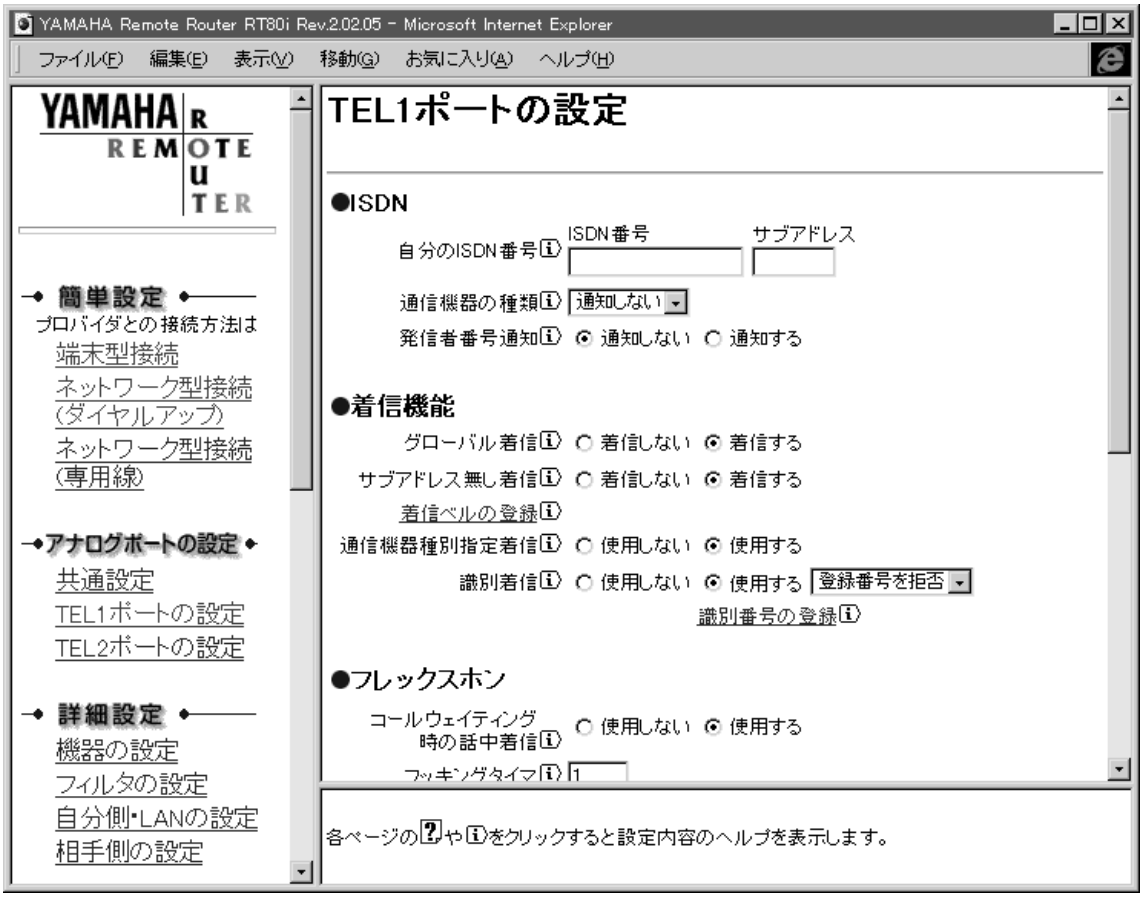


4.3　アナログポートにダイヤルイン番号を設定

ダイヤルイン契約に伴い、**RT80i** の TEL1 ポートにダイヤルイン番号を設定する手順を示します。

1. メニュー画面で [TEL1 ポートの設定] をクリックします。
2. [TEL1 ポートの設定] 画面の [自分の ISDN 番号] テキストボックスにダイヤルイン番号を入力します。

   サブアドレスを設定する場合には、 [サブアドレス] テキストボックスに入力します。
3. 設定内容を確認し、画面下の [設定] ボタンをクリックします。
4. 設定操作後の設定内容が新しい画面に示されます。画面下の [保存] ボタンをクリックして、以上の設定を不揮発性メモリに書き込みます。



MEMO

ダイヤルイン契約を行なわない場合には、 [自分の ISDN 番号] 欄の設定は不要です。

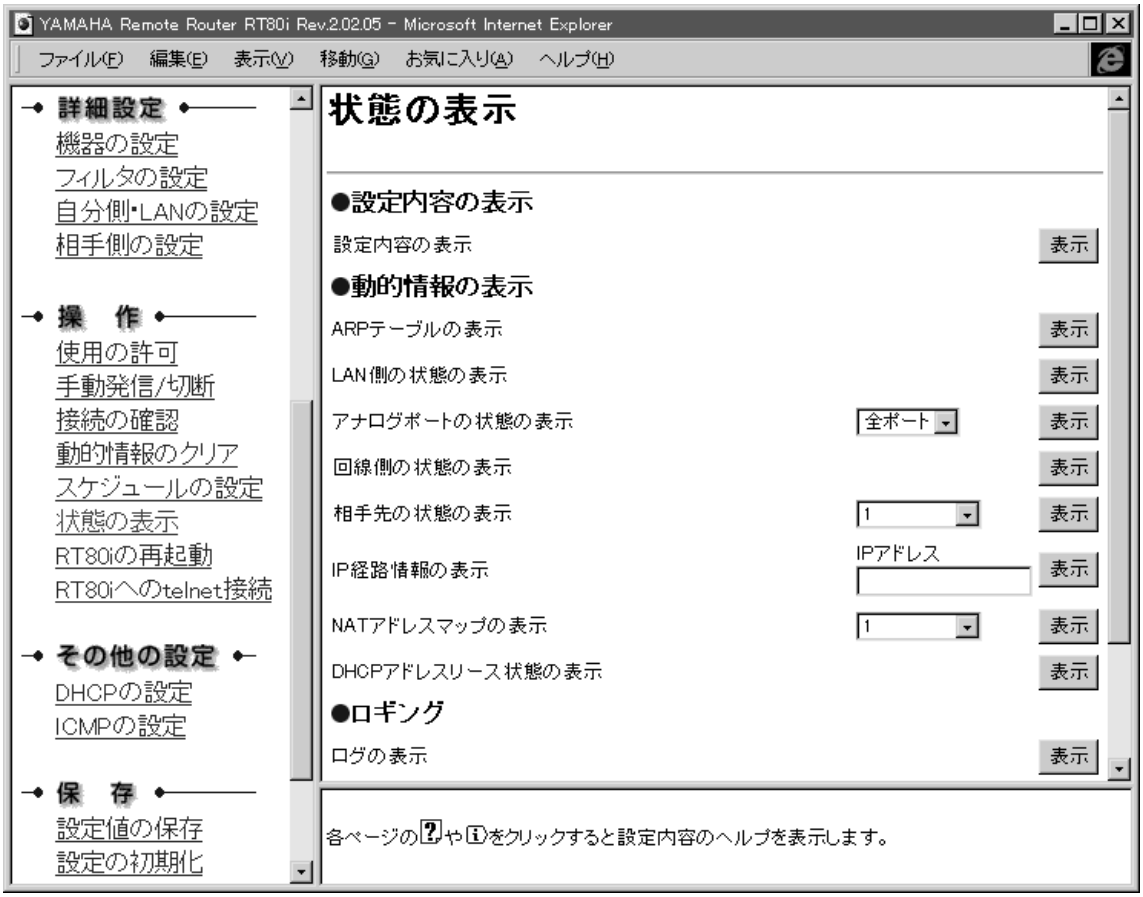
5　操作例

このツールを使用した操作例として、設定内容の表示と ping による接続の確認の 2 つの操作手順を説明します。

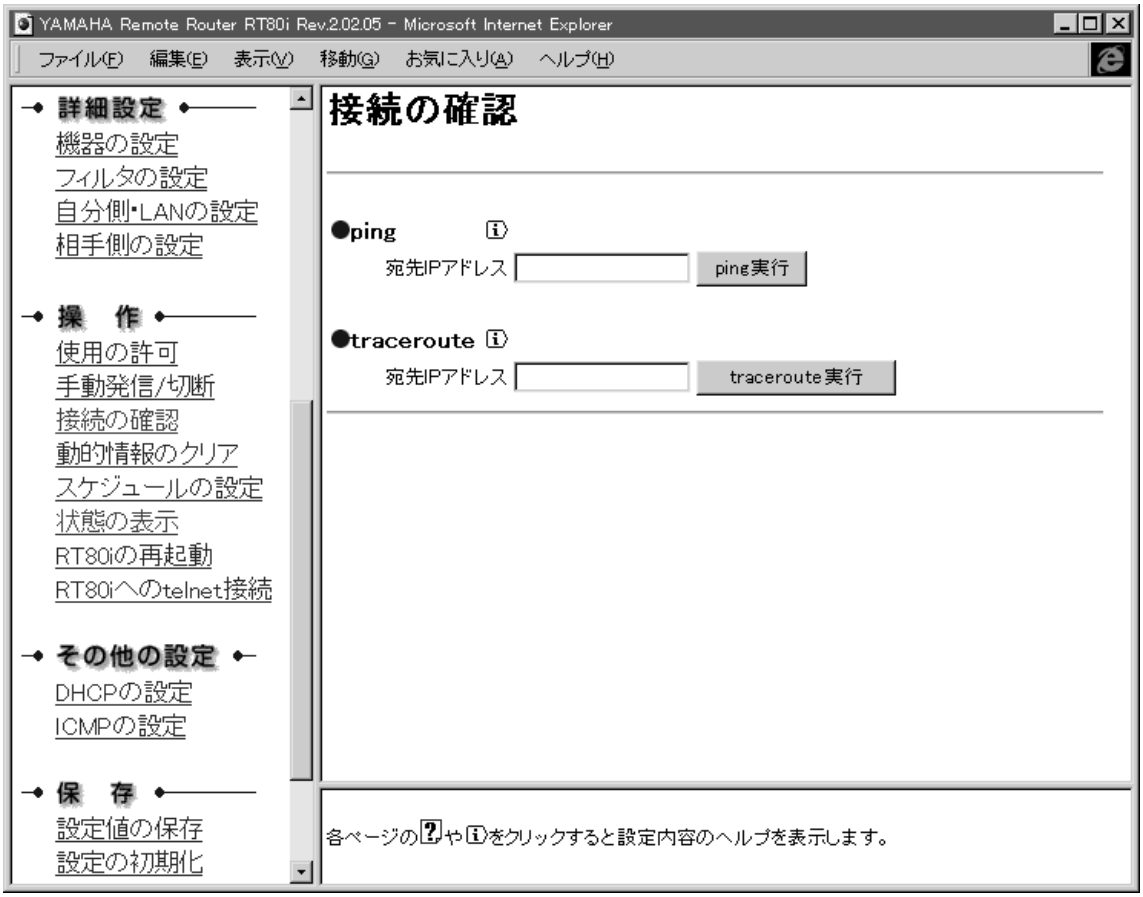
5.1　設定内容の表示操作

RT80i の設定内容を見るためには次の操作を行ないます。この操作は、コンソールから **show config** コマンドを実行することに対応します。

1. メニュー画面で　[状態の表示] をクリックします。
2. 　[状態の表示] 画面で　[設定内容の表示] 項目の右の　[表示] ボタンをクリックします。



5.2 ping による接続の確認操作

RT80i から ping を実行するためには次の操作を行ないます。この操作は、コンソールから **ping** コマンドを実行することに対応します。

1. メニュー画面で [接続の確認] をクリックします。
2. [接続の確認] 画面の [ping] 欄の [宛先 IP アドレス] テキストボックスに接続確認したいホストの IP アドレスを入力し、 [ping 実行] ボタンをクリックします。